



まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では2月3日が「立春」でした。「立つ」という言葉には、「新しい季節が始まる」という意味があります。だんだん、春らしさを感じられることでしょう。

2月17日 天使のささやきの日



「天使のささやき」というのは、マイナス20℃以下で空気中の水蒸気が凍ってできる氷の結晶「ダイヤモンドダスト」のことです。1978(昭和53)年のこの日、北海道幌加内町母子里で氷点下41.2℃という最低気温を記録(非公式)したことに由来します。光を屈折させたり反射させたりして、きらきら輝く氷の結晶は美しい天使たちがささやいているようですね。

❄️『雪と氷 水の惑星からの贈り物』 片平 孝：著 PHP 研究所
水はさまざまな姿に変わりますが、水の固体である雪や氷は、たくさんの美しい姿を私たちに見せてくれます。きらきらと輝くダイヤモンドダストも含め、美しい風景や雪の結晶の写真を楽しんでください。

❄️『中谷宇吉郎 雪と氷の探究者』 清水洋美：著 野見山響子：絵 KADOKAWA
「雪は天から送られた手紙である」マイナス30℃の中で顕微鏡をのぞき続け、世界で初めて雪の結晶を人工的に作り出した中谷宇吉郎。雪と氷の研究に情熱を注いだ61年の人生を描いた作品です。

❄️『このミステリーがすごい! 四つの謎』より「ダイヤモンドダスト」 安生 正：著 宝島社
大寒波の襲来によって東京に大雪が降り、明日の开店準備のため残業をしていた奥脇と明伸は本社まで徒歩で移動することになります。まるで雪山を歩くような状況下で、二人は正気を失くしていきます。



16 平和と公正を
すべての人に



16. 平和と公正をすべての人に

一持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する一

虐待や搾取などを含む暴力や組織犯罪、テロリズムを無くし、司法や情報へのアクセスを提供し、基本的自由を保障する。汚職や贈賄を減らし、公共機関の透明性を確保する。差別のない法規・政策の推進、すべての人に対して身分証明の提供をする。

『この計画はひみつです』 ジョナ・ウィター：文 ジャネット・ウィター：絵 さくまゆみこ：訳 すずき出版

ニューメキシコの砂漠にある名もない町。ある極秘の計画のために科学者たちが政府に雇われ、やってきます。そこには料理人や清掃員、警備員なども働いていましたが、科学者たちが何を作っているのか全く知りませんでした。なぜそこまで秘密にしなければならなかったのか。あとがきまで読んでみてください。

この本、読んでみませんか？

(図書委員 和香さんのおすすめ)

『もものかんづめ』 さくらももこ：著 集英社

私がこの本を紹介したい理由は二つあります。一つは、著者が学生の頃やアルバイトをしていた頃の友人や知人から聞いた話が面白いこと。二つ目は、著者や周りの人たちと、生き物との楽しいエピソードが描かれていることです。16個の笑えるエッセイを、ぜひ読んでみてください。



たまにはゆったり家族で読書



『漫画 君たちはどう生きるか』吉野源三郎：原作
羽賀翔一：漫画 マガジンハウス

旧制中学校に通う15歳のコペル君は、叔父から一冊のノートを渡されます。その中のメッセージから、身の周りで起きる差別や貧困の問題、人間関係について学びます。もし、コペル君のように友人を裏切ってしまったらあなたはどうしますか？

